

# みどころいっぱい浦富海岸

## ① 浦富海岸島めぐり遊覧船



遊覧船では、海上から日本海の荒波によって削られた海食崖、海食洞門、そしてクロマツに覆われた島々や真っ白な石英砂の砂浜など、変化に富んだ景観を楽しむことができます。大型船と小型船があり、小型船は洞門や洞窟に入ることができます。(問)山陰松島遊覧(株) 0857-73-1212 <http://www.yourun1000.com/>

## ② 千貫松島



花こう岩が節理という割れ目に沿って侵食され、海食洞門をもつ離れ島を形成しました。江戸時代に鳥取藩主の池田侯が、この島のあまりの美しさに「我が庭にこの岩つきの松をうつすことができた者には禄千貫を与えよう」と言ったことが、名前の由来とされています。

## ③ おしろいの断崖・網代展望台



高さ約70mにも達する絶壁(海食崖)です。崖の白い色は、野生の鳥の糞(ふん)だといわれています。この崖の上には網代展望台があり、浦富海岸の美しい海岸地形や鳥取砂丘を見わたすことができます。

## ④ 水尻洞門・水尻の谷



谷水が小さな入り江に滝のように注ぎ落ちるので、水の水尻という意味から「水尻」という名がついたとされています。この滝の北西方向にある洞門が水尻洞門で、冬の季節風による荒波で北西方向に穴が開けられました。

## ⑤ ロシア軍将校遺体漂着記念碑



明治38年、日露戦争の日本海海戦終了後に、田後沖に漂流していた3体のロシア軍将校の遺体を、地元の村民は敵にもかかわらず、椿谷に丁寧に葬り供養しました。この地元の人々の行動を顕彰しようと、昭和37年に岩美町出身で初代国連大使の澤田廉三氏によって碑が建立されました。

## ⑥ 椿谷の柱状節理



このあたり一帯に分布する花こう岩を貫く石英斑岩の岩脈です。マグマが冷えて岩石ができるときに、柱状の割れ目(柱状節理)ができました。柱状節理は、玄武岩や安山岩によく見られるものですが、石英斑岩ではあまり一般的ではありません。

## ⑦ 鴨ヶ磯・酒宴洞門



鴨ヶ磯は、点在する島々と、石英などからなる白い砂浜が美しい海岸です。大鴨ヶ磯と小鴨ヶ磯があります。海岸の東に位置する洞門は、酒宴洞門と呼ばれ、昭和2年に訪れた島崎藤村もその美しさに心を奪われたと伝えられています。

## ⑧ 城原海岸



花こう岩の礫からなる礫浜と石英砂の砂浜からなる海岸です。磯と小島の間には、花こう岩に貫入した柱状節理をもつ石英斑岩の岩脈が見られます。鴨ヶ磯から城原海岸にかけての海域は、海岸の美しさとともに海水の透明度も高く海域公園に指定されています。

## ⑨ 菜種島・菜種五島



城原海岸から沖に並ぶ5つの島を菜種五島といいます。一続きの岬であったものが、いくつかの洞門ができ、やがてその天井が崩れて離れ岩が並ぶようになったと考えられています。菜種島は唯一菜の花が咲く島です。

## ⑩ 網代隧道



この隧道ができる前は、網代と沓井(くつ井)の間は険しい断崖で、その崖に這うようにつけられた「坂越八丁」と呼ばれる細い道しかありませんでした。明治40年に、当時の網代村長がこの崖に隧道を通すことを思い立ち、大正元年に念願の隧道が完成しました。当時は、トンネル内部は花こう岩が剥き出しの状態で、ぼろぼろ崩れたり、冬は氷柱が垂れ下がって危なかったそうです。

## おすすめ：田後



海に向かって開いた谷の斜面に、住居が密集した漁村です。この漁村の街並みは、江戸時代に浜辺に近いところへ住み着いた田後開祖の5軒の家から、その後に住み着いた住民が川沿いの両岸の凹地や西側の高台を、奥へ奥へと切り開いてできあがったものです。坂道が多く、石段や石が積まれた崖があり、大雨などで崩れない工夫が見られます。

## おすすめ：日和山



田後の北端に位置する日和山には、江戸時代の石灯籠があり、灯台として利用されていました。この灯台の真下には「おさわが瀬」という岩礁があり、潮流も速いため、夜の航行の安全のための目印の役割を果たしていたと考えられています。

## ジオコラム①

### 節理と海岸地形

浦富海岸一帯の花こう岩には、北西から南東方向の節理(規則正しい割れ目)とそれと直交する方向の節理や破碎帯(断層)が発達しています。これらの節理や断層に沿って、冬の季節風や荒波が花こう岩を侵食し、浦富海岸の海岸地形を作り出しました。浦富海岸では、島の形や入り江に、節理に沿って侵食された直線的な構造を見ることができます。



城原海岸



千貫松島(小さい洞門)と虚空蔵山の洞窟

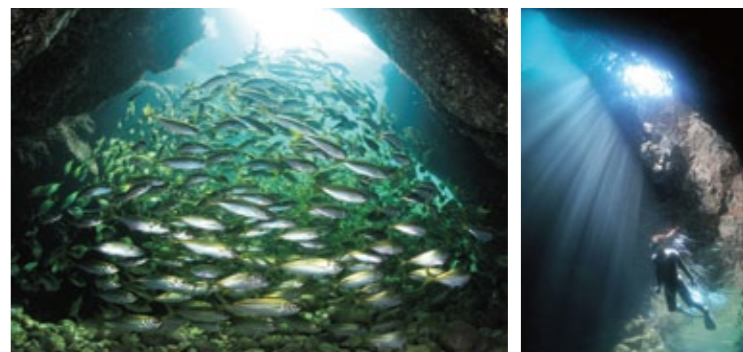


複雑な入り江

## ジオコラム②

### 海の中まで続くジオパーク

鴨ヶ磯から城原海岸までの海域は、海域公園地区に指定されています。この海域は、海水の透明度が高く、海中に光がよく届くためにホンダワラなどの海藻が繁茂しています。この海藻が魚介類の格好の隠れ家や餌場となり、豊かな生態系を育んでいます。また、陸上で見られる節理は海の中まで続き、直線的な岩の割れ目と降り注ぐ光が幻想的な空間を作り出しています。そこはまさに海の中のジオパークです。



**クイズの答え** ①波食棚 ②周辺の海岸や島が白っぽい花こう岩できているのに対し、黒っぽい凝灰角礫岩という岩石できているため